

福知山市告示第244号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項後段の規定に基づき、令和6年4月1日から令和6年9月30日までの期間における病院事業の業務状況及び令和5年度決算の状況を次のとおり公表します。

令和6年12月1日

福知山市長 大橋 一夫

## 福知山市病院事業業務状況報告書

(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

### 1 事業の概況

市立福知山市民病院 本院の当期末の延べ患者数は、入院は56,583人（一日平均 309.2人）となり前年度同期に比し 2,639人（一日平均14.4人）の増加、外来は121,421人（一日平均 979.2人）となり前年度同期に比し2,584人（一日平均 20.8人）の増加となりました。

設備関係につきましては、手術支援ロボットのバージョンアップや超音波診断装置をはじめとした医療機器の更新のほか、中央監視制御装置や3階南系統給湯配管設備など、施設の老朽化に伴う設備の更新工事を進めました。

収支につきましては、入院、外来ともに患者数は増加したものの診療単価が下がったことにより、診療収入は前年度同期に比し1.08ポイントの減少となり、支出では給与費や減価償却費などの費用が増加し、当期は前年度に比し22.63ポイント減の791,777,407円の純利益となりました。

大江分院の当期末の延べ患者数は、入院は 8,804人（一日平均 48.1人）となり前年度同期に比し859人（一日平均 4.7人）の増加、外来は 6,996人（一日平均 56.4人）となり前年度同期に比し46人（一日平均 0.4人）の減少となりました。

設備関係につきましては、訪問看護ステーションのオンライン資格確認端末の導入を行いました。

収支につきましては、入院患者数の増加等により診療収入が前年度同期に比し11.40ポイント上回った反面、減価償却費や訪問看護費用などの支出が増加しましたが、当期は前年度に比し62.58ポイント増の54,515,609円の純利益を計上することができました。

この結果、病院事業全体では846,293,016円の純利益を計上しました。

### 2 経理の状況

#### 令和6年度 上半期福知山市病院事業収支計算書

#### 収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	7,577,360,560	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	285,558,072	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看 護 学 校 収 益	3,073,666	授業料収益、その他看護学校収益
4 訪 問 看 護 収 益	15,258,143	訪問看護収益、居宅介護支援収益
5 特 別 利 益	86,734,687	その他特別利益
合 計	7,967,985,128	

#### 費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	6,936,100,031	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	127,200,775	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看 護 学 校 費 用	39,663,576	給与費、経費、減価償却費
4 訪 問 看 護 費 用	18,727,730	給与費、経費
合 計	7,121,692,112	

## (内 訳) 本院分

## 収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	7,273,018,915	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	265,309,369	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看 護 学 校 収 益	3,073,666	授業料収益、その他看護学校収益
4 特 別 利 益	86,734,687	その他特別利益
合 計	7,628,136,637	

## 費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	6,672,328,833	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	124,366,821	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看 護 学 校 費 用	39,663,576	給与費、経費、減価償却費
合 計	6,836,359,230	

## (内 訳) 大江分院分

## 収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	304,341,645	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	20,248,703	補助金、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 訪 問 看 護 収 益	15,258,143	訪問看護収益、居宅介護支援収益
合 計	339,848,491	

## 費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	263,771,198	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	2,833,954	支払利息、長期前払消費税償却、雑支出
3 訪 問 看 護 費 用	18,727,730	給与費、経費
合 計	285,332,882	

令和6年度 上半期福知山市病院事業貸借対照表

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	15,042,558,078	1 企業債(固定負債)	7,280,029,488
2 投資その他の資産	1,105,195,298	2 引当金(〃)	1,470,598,281
3 現金預金	6,047,795,139	3 企業債(流動負債)	449,311,268
4 未収金	2,568,120,892	4 未払金	862,133,321
5 貯蔵品	43,867,286	5 預り金	60,942,879
6 短期貸付金	600,000,000	6 その他流動負債	25,857,660
7 前払金	81,800,000	7 長期前受金	1,188,330,991
8 前払費用	6,721,740	8 自己資本金	5,131,828,092
9 その他流動資産	367,632,540	9 資本剰余金	7,380,195,999
10 貸倒引当金(△)	5,594,629	10 利益剰余金	1,162,575,349
		11 当期純利益	846,293,016
合計	25,858,096,344	合計	25,858,096,344

(減価償却累計額 13,888,917,064 円)

(長期前受金収益化累計額 5,677,852,198 円)

(内訳) 本院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	14,333,626,035	1 企業債(固定負債)	6,914,164,664
2 投資その他の資産	1,080,853,568	2 引当金(〃)	1,390,079,129
3 現金預金	5,706,086,598	3 企業債(流動負債)	432,538,356
4 未収金	2,438,300,939	4 未払金	841,781,960
5 貯蔵品	43,867,286	5 預り金	60,918,429
6 短期貸付金	600,000,000	6 その他流動負債	25,458,567
7 前払金	81,800,000	7 長期前受金	959,582,357
8 前払費用	6,705,900	8 自己資本金	5,131,828,092
9 その他流動資産	361,904,974	9 資本剰余金	7,278,156,635
10 貸倒引当金(△)	5,594,629	10 利益剰余金	821,265,075
		11 当期純利益	791,777,407
合計	24,647,550,671	合計	24,647,550,671

(減価償却累計額 13,358,622,508 円)

(長期前受金収益化累計額 4,995,476,650 円)

(内訳) 大江分院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	708,932,043	1 企業債(固定負債)	365,864,824
2 投資その他の資産	24,341,730	2 引当金(〃)	80,519,152
3 現金預金	341,708,541	3 企業債(流動負債)	16,772,912
4 未収金	129,819,953	4 未払金	20,351,361
5 前払費用	15,840	5 預り金	24,450
6 その他流動資産	5,727,566	6 その他流動負債	399,093
		7 長期前受金	228,748,634
		8 自己資本金	0
		9 資本剰余金	102,039,364
		10 利益剰余金	341,310,274
		11 当期純利益	54,515,609
合計	1,210,545,673	合計	1,210,545,673

(減価償却累計額 530,294,556 円)

(長期前受金収益化累計額 682,375,548 円)

### 3 企業債

(本院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期增加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平7年度	1,117,546	0	272,872	844,674
〃 〃 10 〃	204,789,880	0	19,529,882	185,259,998
機構企業債 〃 14 〃	295,411,864	0	20,223,775	275,188,089
〃 〃 15 〃	205,401,208	0	11,947,393	193,453,815
〃 〃 16 〃	224,897,100	0	11,416,031	213,481,069
〃 〃	152,971,360	0	7,764,999	145,206,361
政府企業債 〃	1,340,668,328	0	51,838,460	1,288,829,868
機構企業債 〃 17 〃	952,216,539	0	43,245,214	908,971,325
政府企業債 〃	1,615,222,161	0	59,174,985	1,556,047,176
機構企業債 〃 18 〃	184,901,045	0	7,515,055	177,385,990
政府企業債 〃	124,750,649	0	4,197,915	120,552,734
〃 〃 29 〃	98,400,000	0	1,850,018	96,549,982
〃 〃 30 〃	162,000,000	0	3,045,761	158,954,239
〃 令元 〃	96,502,895	0	48,251,206	48,251,689
〃 〃 2 〃	102,953,088	0	25,737,693	77,215,395
銀行等企業債 〃	9,869,102	0	2,463,687	7,405,415
政府企業債 〃 3 〃	292,318,833	0	48,701,539	243,617,294
銀行等企業債 〃	48,056,324	0	7,985,891	40,070,433
政府企業債 〃 4 〃	440,600,000	0	54,882,526	385,717,474
〃 〃 5 〃	1,172,100,000	0	0	1,172,100,000
銀行等企業債 〃	51,600,000	0	0	51,600,000
本院分 小計	7,776,747,922	0	430,044,902	7,346,703,020

(大江分院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期增加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平11年度	38,075,794	0	3,002,230	35,073,564
機構企業債 〃 15 〃	1,671,870	0	97,246	1,574,624
〃 〃 16 〃	21,249,767	0	1,078,662	20,171,105
〃 〃 26 〃	12,332,010	0	1,013,613	11,318,397
〃 〃	117,367,516	0	8,356,182	109,011,334
政府企業債 〃 27 〃	147,156,785	0	3,168,073	143,988,712
〃 令5 〃	61,500,000	0	0	61,500,000
大江分院分 小計	399,353,742	0	16,716,006	382,637,736

合計	8,176,101,664	0	446,760,908	7,729,340,756
----	---------------	---	-------------	---------------

#### 4 令和5年度(前年度)決算状況

開院30周年を迎えた令和5年度の病院事業の運営につきましては、福知山市民をはじめとする近隣市町住民のますます高度・多様化する医療ニーズに応えるため、医療人材確保や医療機器整備等を計画的に進め、さらなる医療資源の確保・充実に努めました。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類から5類に引き下げられ、社会・経済活動が徐々にコロナ前にもどりつつあるなか、当院は引き続き発熱外来をはじめ入院治療やワクチン接種など新型コロナ対応を継続するとともに、救急医療・高度医療など地域住民への安全で良質な医療の提供に全力を傾注しました。

患者数につきましては、コロナ入院患者が減ったこと、平均在院日数が短くなったことなどにより延べ入院患者数が減少し、発熱外来患者数の減少等と併せて、総患者数は市民病院で6,851人減の346,082人、大江分院で552人減の30,927人となりました。

設備整備につきましては、医療情報システム(電子カルテシステム等)をはじめ放射線科の画像部門、放射線治療、読影支援の各システムやMRI装置(1.5テスラ)等医療機器の更新等を進めました。また、地域災害拠点病院として必要とされる非常用自家発電機設備の整備等に係る設計業務に着手しました。

収支につきましては、本院では新型コロナ関連の補助金が大きく減少した上、患者数の減少による収入減の要因もありましたが、がん治療や血管内治療など、高度医療や手術等により入院、外来とも診療単価が上昇し、診療収入は前年度比 3.2ポイントの伸びとなりました。支出につきましては、高額医薬品や治療材料などの材料費や委託料をはじめとする経費が増加しましたが、病院施設の全面改築から15年が過ぎ、空調、電気、衛生設備等の償却年数が経過したことにより減価償却費が大きく減少しました。この結果、本年度は 331,719千円の純利益を計上することができました。

大江分院につきましては、患者数は減少しましたが診療単価が上昇したことにより前年度とほぼ同額の診療収入を維持することができました。支出につきましては給与費や医療情報システムの更新に伴う特別損失が増額となりましたが、本年度は 14,975千円の純利益を計上することができました。

#### 市民病院について

##### (イ)収支の状況

収益的収入 15,818,124,641円に対し、収益的支出 15,486,406,087円で収支差引 331,718,554円の当年度純利益となりました。

##### (ロ)患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 108,962人(1日平均 297.7人)、外来 237,120人(1日平均 975.8人)(新型コロナウイルスワクチン接種者除く。)となりました。病床利用率は 84.10%(一般病床 85.49%、結核病床 23.13%、感染症病床 55.94%)となり、前年度に比し一般病床で2.57ポイント、結核病床で22.44ポイント、感染症病床で11.32ポイントと減少し、全体では 3.00ポイント減少しました。

大江分院について

(イ)収支の状況

収益的収入 705,021,233円に対し、収益的支出 690,046,187円 で収支差引 14,975,046円 の当年度純利益となりました。

(ロ)患者の状況

年度末の受診患者延数は入院16,296人(1日平均 44.5人)、外来14,631人(1日平均 60.2人)、病床利用率は85.62%(療養病床 86.60%、地域包括ケア病床 84.48%)となり、前年度に比し療養病床で 2.29ポイント、地域包括ケア病床で3.15ポイントと減少し、全体では2.69ポイント減少しました。